

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カズライフサポート放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年2月18日		2025年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 18名
○従業員評価実施期間	2025年2月18日		2025年3月14日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様懇談会にて事業所の活動のことを伝えられたこと、保護者様同士の交流の機会を設けられたこと！	普段送迎の際等で活動の様子を等々伝えていますが、保護者様懇談会では、今年度の活動の写真約300枚と動画をお見せしました。言葉では伝えられない様子を写真等でお伝えでき、大変喜ばれました。また、その後の保護者様交流会でもスタッフを交えながら、交流ができ今後も継続していきたいと思いました。	来年度も保護者様懇談会を開催したいと思います。普段から活動の様子を写真や動画等で記録し、保護者様へお見せしたいと思います。また、その際に交流する機会も設けたいと思いました。
2	スタッフとの日々のミーティングを欠かさず行うこと！	送迎前には、子どもの直近の様子を確認し、その日に行う活動のスケジュールや帰りの送迎を検討しています。また、送迎が終わってからは、その日の支援の振り返りを行っております。日々のミーティングが利用者様が安心して楽しく通えることにも繋がると思い、これからも継続していきたいと思っています。	スタッフは、各自メモ帳を持つようにし「ちょっとしたこと」でもミーティング時に話ができるよう、今後も取り組んでいきたいと思っています。学校がお休みの日は、時間が取りにくいこともありますが、とても大切なことなので、忙しい中でも時間を作っていききたいと思います。
3	活動プログラムの立案及び実行を明確に行うこと！	毎月の月間予定表(活動のプログラム)を決める際には、スタッフ間でよく相談しながら行っております。また、誰がその活動を行うかもよく相談しています。活動担当者以外のスタッフは、フォローに積極的に入るよう取り組んでいます。	子どもが学び、楽しむことができるプログラムを日々これからも考えていきたいと思っています。そのためにも、日々の様子をみながら「このような活動を取り入れよう」あるいは、子どもの希望の活動を取り入れてみたり等、工夫しながら今後も進めていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様懇談会の参加について。	一人でも多くの保護者様にご参加いただけるよう、工夫しなければいけません。ご参加頂けなかった保護者様は、就労の関係で休みが取れない等の意見もありました。	今年度参加できなかった保護者様へは「来年度は是非、ご参加下さい！！」と声掛けをしました。また、早めにお知らせし、保護者様も仕事の都合がつけるよう、進めていきたいと思っています。
2	地域の他の子どもと接する機会について。	らいつへお出かけした機会がありました。コロナやインフル等の感染症のことを考えると、控えめに今年度は、取り組んでいました。少しずつ落ち着いてきたので、来年度は、その機会を増やしていきたいと思っています。	近所の公園に出かけた活動の際、野球を子どもとやっていたところ、事業所の最寄りの小学校の生徒さんから交ぜてと声をかけられ、一緒に行いました。今後は、このような機会も自然と作れるよう、進めていきたいと思っています。
3	事故等(怪我等を含む)の対応について。	これまで大きな事故、怪我はありませんでしたが、油断せず、日々の事業所内の様子や特にお出かけの際には、細心の注意を払い子どもを見守っていききたいと思います。	事業所内には、児童指導員で且つ看護師免許保持者もいますが、事故や怪我等の場合は、すみやかに対処すると同時に保護者様とも相談しながら、進めていきたいと思っています。